

シリーズ「知りたい!隣の地域懇」

## 中川新入生歓迎会<9/12>のご報告

秋の懇親会は、例年レストランで全学年揃って行われますが、今年は状況を鑑みて新入生保護者と幹事のみで行われました。

地域担当の中学理科の鈴木和夫先生から父母懇についての説明を受けたのち、「テストの結果は良くできているところを正しく評価する」ようアドバイスを受けました。また、中学数学の伊藤友則先生は「休校があったが、遅れは完全にカバーできた」とお話しされ、皆安心したようでした。

新入生保護者の自己紹介後、先生を囲んで自由討論となり、連絡先を交換して閉会となりました。



地域担当の  
鈴木先生

### 【アンケートより】

- ・入学してから、なかなか先生方や保護者同士でお話しする機会がなかったため、今日は色々なお話ができてとても楽しかったです。
- ・お知り合いができ、心強くなりました!

## 中東秋の地域懇<9/27>のご報告

スタディホールにて、4名の先生をお迎えし、参加者42名で和やかに開催されました。

まず初めに、井坂先生・梅川先生・高橋先生から、8月に行われた中1保護者15名による新入生歓迎会の様子を報告していただきました。

その後の寺田先生の大学受験に関するお話は、受験を迎える生徒の親にとってとても有益なものでした。特に「卒業生からのメッセージ」の資料をもとに「親として大事なものは、少し離れた位置から子供を見守る事が出来る力である」「クラブ活動など自分なりの達成感をもてる居場所の大切さ」「各教科においては基礎学習を徹底する」というお話は、とても心に残るものでした。保護者の皆様は、先生のお話に耳を傾け、熱心にメモをとっていました。

続いて、4名の先生方に学年毎のテーブルに順番に入っていました。そこでは「学年が上がるごとに学校からの配布物が親の手元に来ない」「ゲームばかりする」「英語の勉強方法」など沢山の質問や相談がされました。各先生からは、ユーモアを交えて回答して頂き、どのテーブルからも終始笑いが絶えることがありませんでした。



お世話になった先生方へ

### 【寺田先生のコメント】

本日の地域懇は中1から高3まで幅広く参加されておられるので、まず高3の出口はどのような状況であるかを述べ、それを踏まえて各学年において学習と生活面で何を留意すれば良いのかを示しました。資料は大学に合格した「卒業生からのメッセージ」を利用し、具体的な内容になるよう心がけました。皆さん熱心に耳を傾けておられました。私にとっても充実した一日でした。

## 特集 第1回文化講座

### 「学校発着!怪談・奇談・妖怪まち歩き」

講師の中学理科の島田尚幸先生に、先生としての矜持や尽きない妖怪への思いを語って頂きました。

#### 一教師になる前の職歴が色々ありますが?

「面白いもの好き」で、誘われると断れないのではなく、肯定的に捉えて「断らない」のです。接客業は大好きな人間観察ができるから。そこで個々のお客様との間のつめ方を覚えました。同様に色々な生徒と良い間が取れるようになりたいと思っています。

#### 一教師を目指したのは?

実は先生になろうとは思っていませんでした。教育学部に行ったのは、大好きな理科を4科目とも学べるから。幼い頃から自分で図鑑を作ったり、実験をしたり、機械を分解後に組み立て直したりして遊んでいました。ただ、昔から学校は大好きでした。良いことも嫌なこともあるけれど、友達と他愛ない話ができる居心地の良い場所でした。

#### 一生徒に伝えたいことは?

心と体の健康を一生一番に考えられる人になって欲しいです。勉強は二の次です。相談室もずっと続けています。

#### 一和服をよくお召しになるのは?

父方の実家の職業柄、物心つく前から着ていました。夏期講習やイベントでは必ず着るようにして、最近は独自のスタイルや自由な着こなしも楽しんでいます。

#### 一妖怪に興味を持ったきっかけは?

幼稚園に上がる前から一番よく遊んだ場所がお墓で、あとは近くの小さい川で生物を捕まえて遊んでいました。アニメ「ゲゲゲの鬼太郎」の中で、よく似た風景に出会ったのがきっかけです。面白いからつい見ってしまうし、好きで見るからどんどん覚えていきました。

#### 一先生の考える「妖怪」とは?

講演会などでは「よく判らない時、事、物、人、場」としています。キャラクターとして作ったもの、昔の人が説明のつかない現象に名前をつけて納得したもの、

人々の勘違いが定着してしまったものなどなど…。イメージも人それぞれなので定義が難しいのです。

#### 一あいち妖怪保存会について

立ち上げた一番のきっかけは2011年の東日本大震災。命や建物だけでなく、文化も根こそぎ奪われました。お化け話のように取るに足りないものほど簡単に失われていくけれど、そこにこそ人の営みの根幹(差別、恨み妬み、死への恐怖、生・性への執着など)が表れていて、美しいもの・醜いもの、粗野な部分がいっぱい詰まっているのです。これを保存という名目のもと集めたら面白いものができると思いました。

#### 一まち歩きイベントとは?

妖怪にフォーカスしたコース、まちをベースにしたコース、今年は特に疫病退散のお題を元にしたコースもあります。今回、東海周辺の下見で新たに発見した場所もありました。このお話をいただいて、まず既存のコースではないもの、そして学校周辺で、いつでも行けるコースをと考えました。(終)

島田先生は、人々が越えられない、なんとなく怖くて分らないもの、避けて通りたいと思ってしまうような線を「興味」と「好奇心」で軽々と越えて、さらに深くまで突き詰めるバイタリティの持ち主であり、圧倒的な人脈の広さは、「面白いもの好き」が引き寄せている縁なのだろうと思いました。これだけの活動をなさっているのにも関わらず、こだわりがないようにお話しされるのも、その時々で自在に動ける柔軟性を持ち合わせているからだとお見受けしました。東海に来るべくしていらっしゃった先生ですね。

#### ◆今後の掲載予定◆

・オータムフェス・ビッグフェスの報告

#### 編集後記

新歓・秋の懇親会の幹事様方、コロナ禍でのご準備 本当  
にありがとうございます。

島田先生、お話し上手であっという間に引き込まれました!

